

||新年のごあいさつ



栃木県薬事工業会長
佐藤 忠男



皆様、新年明けましておめでとうございます。年頭にあたり、一言ご挨拶申し上げます。

昨年は工業会創立25周年に当たり、節目の年（年度としては途中ですが）として記念行事等も多く、何かと忙しい年でした。

業界を取りまく環境は99年8月1日施行されたGMP規制や年々強まる医療費抑制策による薬価基準制度、介護保険制度等の抜本的見直しが話題となりました。

一方、経済界では戦後最悪のマイナス成長となった97年よりの波紋はなかなか収まらず低迷していますが、ここにきてようやく各種の政策効果の浸透に加え、アジア経済の回復兆しなどの影響もあり、全般的には小康状態を取り戻している様です。又、日本経済の構造改革の進展が顕著に現れ始めた年でもありました。日本の古い慣行や、しがらみにとらわれない外資系やベンチャー企業が増えてきたこと、旧財閥の枠組みを越えた大手銀行同士の合併等、大きく変化した年だと思います。その中で、栃木県薬事工業会は県公衆衛生大会、県公衆衛生学会への参加を初めとしてGMP研修会、ISO9000s内部品質監査員養成セミナーISO14000内部環境監査員養成セミナー等、会員各社のレベルアップと情報交換の場を設けてきましたが、今年も継続して開催し益々進む医療関連市場の国際化に対応できる工業会としての体力を増強しつつ25周年を1つの区切りとして新たなスタートの年と考え、会員各社の発展を祈念いたします。

皆様のご支援よろしくお願ひいたします。

||新年のごあいさつ



栃木県保健福祉部薬務課
課長 小林 暁弘



2000年の新年を迎える謹んでお慶び申し上げます。

記念すべき年には「栃葉工だより」でご挨拶できるのも巡り合わせとはいえ感激の心境です。昨年は薬事工業会にとって忙しい年となっていました。佐藤会長さんには就任後にも関わらず大変多忙な業務を遂行していただくことになり心から感謝しています。

また、薬事工業会が昨年で丁度、創立25周年に当たり、盛大に、そして有意義な記念大会を開催出来たことは、会長さんを始め理事のみなさんのご努力の結果と敬意を表すところです。毎年実施しています視察研修も今回は1990年代、最後の年と25周年を記念して海外視察を決行しました。「県外優良施設現地研修会実行委員」を設けアンケート調査を行い、グラクソ・ウェルカムのタイ工場に決定したところですが、会社によっては、海外に出ることは危機管理等の問題で厳しい条件がつけられているところが多く、今回参加出来なかった会員皆様には大変申し訳なく思っております。海外視察研修は、何のトラブルもなく全員が元気に3泊4日の視察を終えたことにも感謝申し上げます。

さて、お世話になったグラクソ・ウェルカム会員も2000年幕開け早々インフルエンザ治療薬の緊急製造・販売に着手する等、会員の皆様も忙しい年の幕開けとなりそうです。

干支の辰年に因み、龍のように会員の皆様の業績が昇り上がることを新年に祈念して、挨拶といたします。

公衆衛生大会

9月6日、栃木会館、栃木県総合文化センターにて表彰並びに口演が行われました。

衛生優良施設の部では、マニー(株)本社工場が知事表彰
ジェーピーエス製薬(株)栃木工場が大会長表彰、個人の部
では、保健衛生事業功労者として石橋嘉一郎前会長が表
彰されました。



知事表彰を受けたマニー(株)本社工場の松谷 正光さん

公衆衛生学会

学会では、次の2氏が研究発表されました。持田製薬(株)
「当工場の防虫管理について」マニー(株)「ISO9001-C E
マーキング認証取得の為の活動」



持田製薬(株) 宝田 哲仁さん



マニー(株) 藤本 高継さん

ISOセミナー

参加された薬務課小林主査よりコメントをいただきました。

ISO9000 s 内部品質監査員養成セミナー

栃木県保健福祉部薬務課 主査 小林 一彦

通常の監査員養成セミナーは、監査手法に重点を置いていますが、工業会が実施している講習会はISO9000の要求事項についてもGMPとの違い等をわかりやすく解説しています。

特に講師については、医薬品・医療用具の製造管理・品質管理を現場で経験されている方をお願いしております。そのため、認証取得を目指していない企業にとっても自社のGMPにISO9000の考え方を取り入れる良い機会になるとともに、GMPで求めている自己点検の適切な実施のために大変有効な講習会だと思います。GMPが許可の要件となっていない化粧品製造業者の方も積極的にご参加いただいております。また、県内工場の現場責任者が顔をそろえる機会は少ないため、この機会をよき情報交換の場としていただきたいと思っております。

私も皆さんと一緒に受講させていただきましたが、経営者の品質方針の明確化や購買管理、手順書作成上の注意点等大変参考になりました。また、監査員の心構えやチェックリストの活用など、査察に取り入れて行きたいと考えております。

最後に試験（選択方式でよかった。）があり、何十年ぶりかの緊張に胃が痛くなる思いでしたが、全員無事に修了証を受け取ることができました。修了証が最

9月21、22日にISO9000s内部品質監査員養成セミナー、10月14、15日にISO14001内部環境監査員セミナーを自治会館にて開催いたしました。

福田先生▶



終目的ではなく、それぞれの企業の製造管理・品質管理に大いに活用されることをお願いいたします。

ISO14001内部環境監査員養成セミナー

医薬品等製造業者のISO14001認証取得率は医薬品2%医療用具10%ですが、今後、環境活動が益々重要視されると思います。

通常の監査員養成セミナーは、監査手法に重点を置いていますが、工業会が実施している講習会はISO14001誕生の経緯、取り組みの重要性、ISO14001要求事項、監査手法についてわかりやすく丁寧に解説しています。認証取得を近い将来には考えていないという企業にあっても、最後の一歩として最適なセミナーだと思います。

栃木県においても保健環境センターが来年度の認証取得に向けて活動を開始しています。私も皆さんと一緒に受講させていただき、組織・企業としての取り組みの重要性はもとより、個人として環境への認識が高まりました。

ISO9000と同様に試験（選択でなく筆記試験）があり、蚤の心臓がバコバコでした。全員、終了証を受け取ることができましたが、一部の方は先生よりコメントが出されました。（きびしへい。）修了証や試験で100点をとることが最終目標ではなく、それぞれの企業に戻りいかに活用するかが大切だと思います。

優良施設研修会

IN
タイ王国

平成11年11月25日～28日にかけて、
会員のグラクソ・ウエルカム(株)さんのタイ工場を視察研修しました。

優良施設研修会に参加して

栃木県薬事工業会参与 山田 陽一郎

確か8月下旬頃、本会創立25周年記念に海外視察研修会のご案内を頂きました。私も歴代幹部は、その都度やがて海外視察に出掛けるチャンスもあろうかと語りあって居りました。会員の参加人数がまとまれば11月25日～28日、タイ国バンコク、グラクソ・ウエルカム社医薬品製造企業の見学、研修を主体とした企画を実施するとの提示を頂き、実現を期待して居りました。10月下旬、18名の参加者で実現するとの案内を頂いたときは本当に嬉しく存じました。

私として今更ながらGMP、製剤技術トレース致し、体力とも参加者各位に迷惑をお掛けしないよう恥ずかしながら努力いたしました。

出発の日、早朝から濃霧で交通不安がありましたが、ほぼ定刻9時に全員が集合され佐藤会長より結団の挨拶を踏まえ、各位緊張の面持ちでタイ国際航空に搭乗しました。エコノミーでしたので少々窮屈、隣り合った方々と6時間半頑張つて暑いバンコクに到着。2時間の時差遅らし調節、早速のチップ対応もありタイ国バーツにそれぞれ交換、専用バスで夕方バンコクビジネス街にあるホテルに到着。身支度を整えてレストランで夕食、先ずはタイスキ等で辛さの洗礼を受けました。当地の暑さに耐えるためにも此の辛さと水補給と睡眠は不可欠の要領と心得ました。翌朝6時半のモーニングコールで起床、皆さん元気に朝食を終え、9時研修先のグラクソ・ウエルカム(タイランド)社製造工場到着を踏まえ、道路混雑事情もあり早めにホテルを出発しました。タイ湾方向南下サクサワット道路沿いに商店、住宅街を進むなかで異常な水害に遭遇、道路片側路線は浸水、水泳している子供も見られ驚きました。徐行しながら大手工場群地帯に達し、進行反対側乾いた道路側に訪問先表示看板を見つけホットしました。予定時間より遅れましたが、会社の皆さんには温かく迎えて頂きました。

2階の大会議室に案内され、会社概要資料を頂き、製造部長氏がスライド使用で細かく質疑応答も含め説明して下さいました。御社現地創立は、1964年。翌'65年製造開始、以降順次補強され、'91年セファロスボリン製剤の製造環境を確保されました由。現在約300名の従業員で100種を超える医薬品の生産がなされ、タイ国病院、ドラッグストアを対象としてシェア4.1%の実績確保の由。約1時間倉庫、品質管理部門、製剤工場の見学を白衣姿で廻りました。現場で幾つかの質問を致したなかで、原水は市水を特別の濾過を経て使用。地下水は地盤沈下もあり禁止されている由、御地は地震は全く無く、対応施策は見当たりませんでした。

巡回見学中の従業員の方々の雰囲気は、頂いた資料の会社コンセプトに見られる如く、従業員の心、チームワークを特に大切にされて居ることを感じ、優良商品作り、



チャオプラヤ河のほとりで



技術育成のベースと受け止めました。昼前研修見学を終え、往路を約25km逆行バンコク市内を経て北西のエメラルド寺院、王宮、チャオ・プラヤー河を船で渡り修復成った暁の寺院を見学に廻りました。尚往路の水害は河の水量多く、タイ湾大上げ潮の合体で発生したもので2時間程で引いた模様です。低地では年数回発生するので現地の人々は別に慌てる様子無く、却って、床掃除に懸命の様でした。

見学研修で少々肩凝り気味なのか、約34℃の暑さの各寺院、王宮巡りは、体力の消耗もありましたが、青い空に建物の美しさが映え、皆元気に頑張りました。

交通混雑激しいなかで、現地では殆どクラクションが聞こえず渋滞の忍耐も日本とは大違いでした。タイ国の歴史を見るなかでラタコシンで夕食、古典舞踊を鑑賞しました。皆さん早くも料理の辛さ、タイ国産シンハービールにすっかり慣れれた様子でした。

翌日バンコク北方校外にアタユヤの世界遺産、パンパイン離宮を大変暑いので比較的涼しい午前中見学に廻りました。当日昨日までの経験で各位、セブンイレブン等でツアー中の飲用ドリンクを確保しました約1時間の道中はもとより、バンコク市内随所にタイ国・プミポン国王の写真画が飾り付けてありました。12月5日誕生日を祝し多くのイベントが用意されている様です。その写真を見ているうちに栃木県薬務課長でした佐藤昱夫氏の顔を思い出しました。ご勘弁ください。

今回のツアーには旅行業者の細部の配慮も良かったが、現地ガイドに「真理子」さんを付けたのもタイ人との対応に効果がありました。当初から現地での注意点を口癖よろしく徹底されました。飲用水の注意、日射予防に帽子着用、手荷物・上着の放置注意、路傍の叢には毒蛇、トカゲが居るときもあり注意、野犬の注意、車のスピード走行に注意等、暑さと、諸手配ご苦労さんでした。お土産店手配は立場の都合もあるのでしょうか、私どもも安全に品物を自由選択出来る機会も欲しい希望もあった様です。

今回、栃木県薬事工業会として、異国で企業見学研修を柱とした様々な体験、意見交換が出来たのは収穫でした。特に今、日本の置かれた状況でアジアを見つめる良い機会であったと存じます。

グラクソ・ウエルカム社様有難う御座居ました。今後の活躍を期待して居ります。

優良施設研修会に参加して

県外優良施設現地研修会実行委員

ジェーピース製薬(株)栃木工場 佐藤 繁喜
日本サーファクタント工業(株) 荒井 邦男

栃薬工25周年の一貫として、平成11年11月25日から28日にかけて、タイのバンコク市にありますグラクソ・ウエルカム社タイ工場を視察しました。参加人員は18名で全員無事に帰国しました。

会社概要はアン製造部長から受け、通訳は参加者のグラクソ・ウエルカム(株)今市工場の前田部長がされました。グラクソ・ウエルカム社(タイ)は、1964年設立し、1995年9月にはウエルカム社と合併し現在の名称になっています。従業員は300名、10部門からなり、工場部門は130名です。

グラクソ・ウエルカム社は31ヶ国に55の工場を有し、18000名の従業員、400種の製品と10000を超える包装形態を製造・販売している国際企業です。アジア圏は12ヶ国、気管支拡張剤セレベント(持続性)、喘息治療剤セレタイド、B型肝炎治療剤ゼフィックス、H I Vの逆転写酵素阻害剤ザイアジェンの4種類を1998年上市し、大きな成果をあげ、1998年の国内販売は40%を占め、輸出は245ミリオンバーツ(約8億5千万)であるとのことです。

工場のスタッフの内訳は薬剤師19名でその内の7名が生産部、9名が品質保証部、2名が物流、1名管理者。他に技師3名、



グラクソ・ウエルカム社タイ工場正門

微生物学者1名、化学者1名、安全管理者2名、製造要員で構成されています。

製造品目は、抗生物質（セファロスボリン）用時調整注射薬、注射薬（ザンタック）、点鼻液、吸入薬（ベントリン）、クリーム、軟膏、頭皮用材、錠剤、シロップ等です。

見学は包装資材倉庫、中央計量室、固形剤製剤室、充填包装室、注射薬製造室で、全てにGMPが徹底されており、厳重な表示材料の保管、計量のダブルチェックシステム、ガス充填の注射薬製造システムの管理は非常に参考になりました。

その他では視察研修に行く途中、満潮のため海から水があがり数キロにわたり道路が冠水し、通行できない光景にも遭遇し、日本の素晴らしさを再認識できたのも収穫でしょう。12月にはモノレールが運行開始されるので、渋滞が解消されればと願わずにはいられません。

視察研修の翌日の土曜日には、世界遺産のアユタヤ・バーンパイン宮殿を見学し、ビルマ（現ミャンマー）との戦禍の悲惨さに驚き、広島市の原爆ドームと記憶が重なりました。

栄薬工初めての海外視察研修会に尽力されましたグラクソ・ウェルカム（株）今市工場の前田部長及び桜井課長並びに県薬務課事務局に感謝申し上げます。更にグラクソ・ウェルカム社タイ工場のアナン製造部長、関係者の方々にも感謝申し上げます。参加者の皆様大変お世話になりましたありがとうございました。



アユタヤ バーンパイン宮殿

ちょっとイイ話

会員の皆様からの投稿のコーナーです。
第4回目は、栄研化学(株)さんです。

栄研化学(株)那須工場は、那須連山と八溝山系を望む大田原市の野崎工業団地に1984年に進出し、操業を開始しました。大田原市は那須与一の里として知られ、古くから県北の拠点都市として発展してきました。私どもは、この自然に恵まれた環境の中で、「健康」をよりトータルに見つめる臨床検査の総合メーカーとして体内診断用医薬品（造影剤）と体外診断用医薬品（免疫製剤）の生産を行っております。



那須工場本棟



造影剤棟

うちの看板むすめ

栄研製品を厳しくチェックする3人です。
写真左端から…

儀 智美さん

愛車は白いS 13です。休日には、那須周辺をドライブして楽しんでいます。峠道に入るとついついアクセル踏む足に力が入ってしまいます。

阿久津 知英美さん

カラオケが大好きです。
最近は「モーニング娘」や「MAX」に凝っています。

小野崎 智子さん

お茶とお花とスキーが趣味です。華道は教授の免許を持っています。会社では、お茶の代わりにコーヒーをたてるのが日課になっています。



次号は、杏林製薬(株)さんです。どうぞお楽しみに！

編集後記

新年あけましておめでとうございます。

昨年は、会員・準会員と多数の入会があり、全体で89社という大きな会に成長いたしました。

本年は、21世紀に向けて、更に成長できるようより充実した研修会・セミナー等を開催し、会員皆様にご満足いただけるよう心掛けて行きますので、ご支援ご鞭撻のほどよろしくお願ひいたします。

発行日 平成12年1月14日
発行所 栃木県薬事工業会
宇都宮市戸祭元1-25
栃木県保健福祉会館内
TEL (028)622-2113